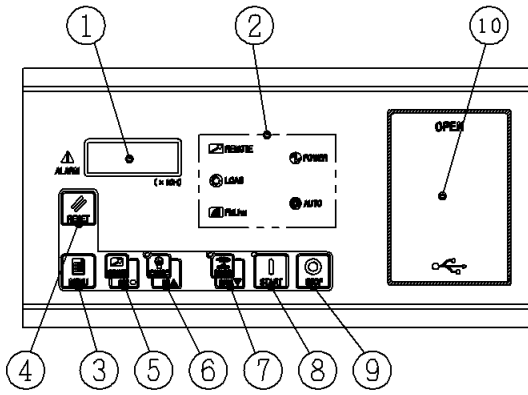
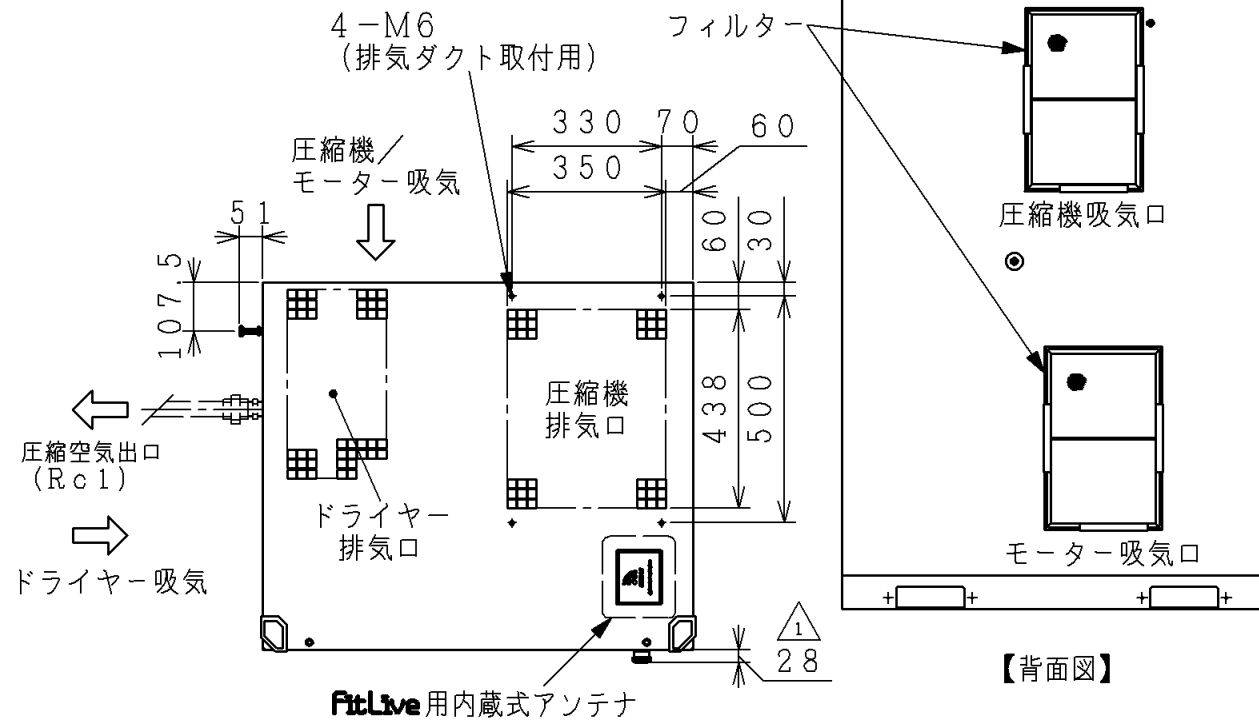


349S39452

計器パネル



記号	記号説明	記号	記号説明
1	運転管理 (デジタルモニター)	6	E-MODE/表示切替スイッチ
2	運転状況	7	ドライヤー/表示切替スイッチ
3	メニュースイッチ	8	運転スイッチ
4	リセットスイッチ	9	停止スイッチ
5	遠方設定スイッチ	10	USBコネクタ

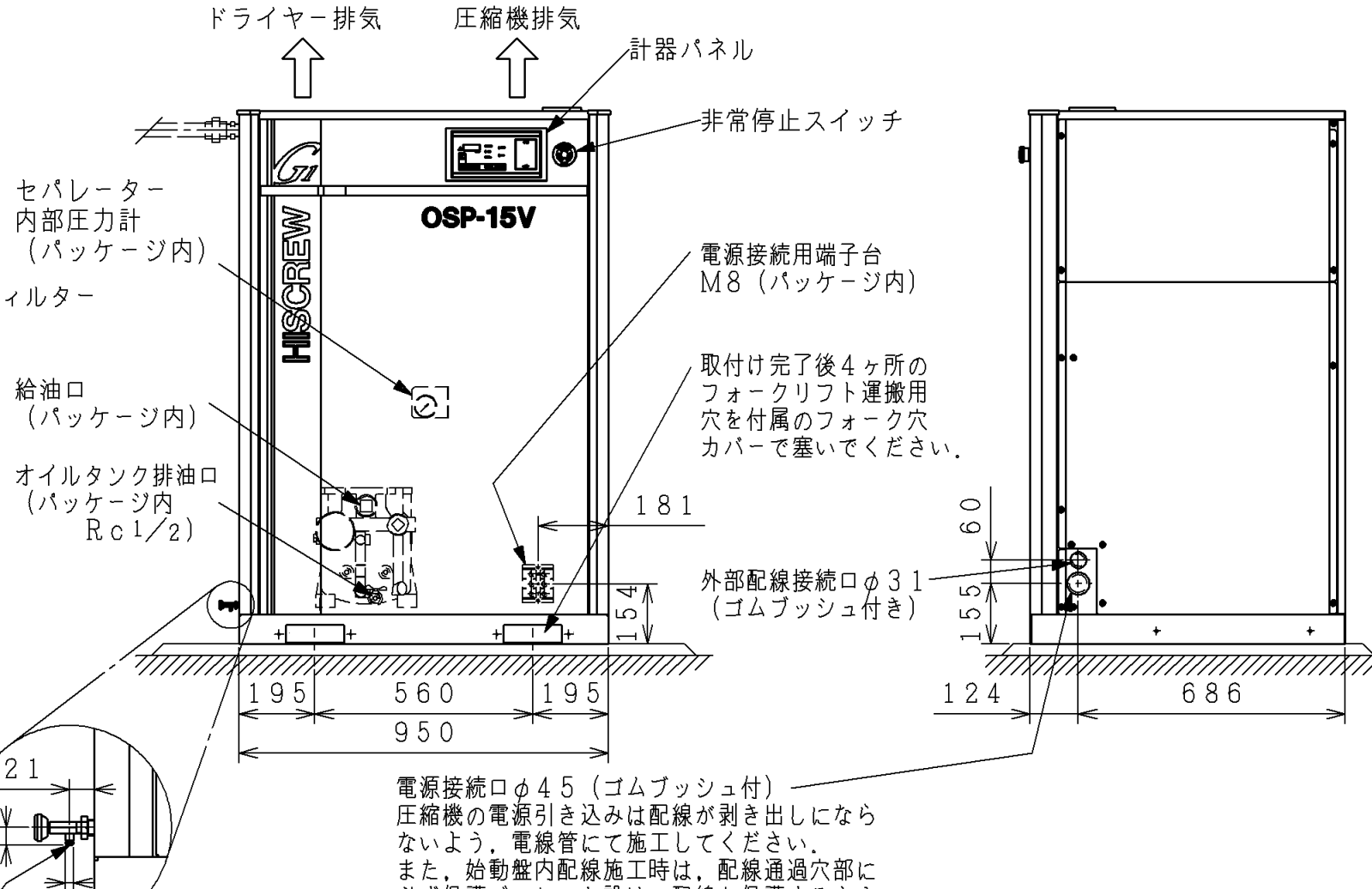
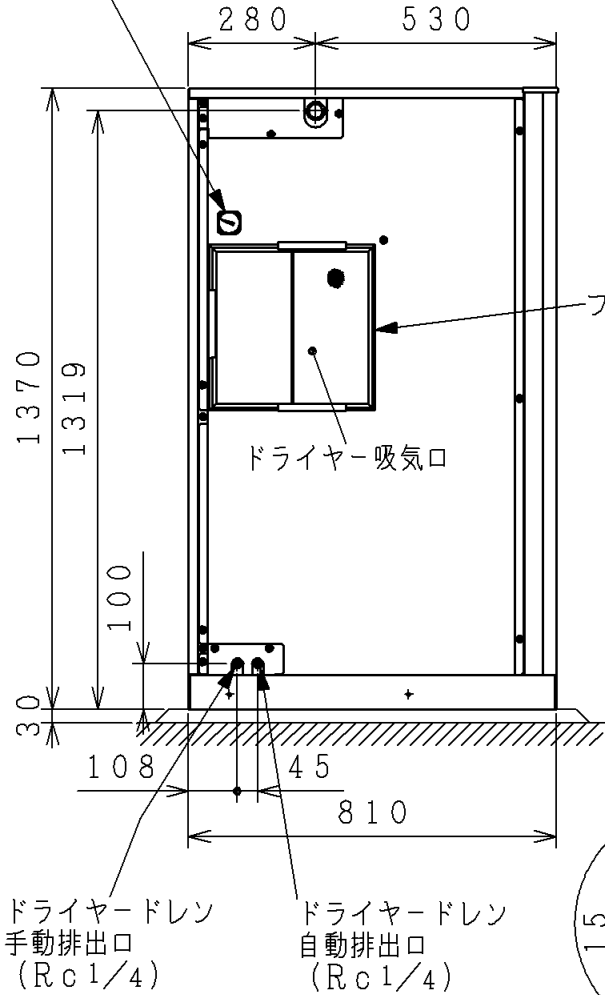


仕様

型式		OSP-15VARG1		
吐出し圧力 (ゲージ圧力)	MPa	0.70	0.83 (1)	0.90
吐出し空気量 (2)	m ³ /min	2.60	2.35	2.22
雰囲気温度	℃	2~45		
電源周波数	Hz	50/60		
電源電圧	V	展開接続図参照		
圧縮機軸動力	kW	17.3以下		
圧縮機最大電流	200V級 A	65.8/66.0		
	400V級 A	32.9/33.0		
主モーター出力×極数	kW	15 [SF=1.15] × 8		
ファンモーター出力	kW	0.4 【全閉】		
コントローラ仕様 入力電流	200V級 A	62		
	400V級 A	31		
必要換気風量	m ³ /min	191以上		
ドライヤー 出口露点 (3)	℃	10 (圧力下)		
	定格電流	200V級 A	3.8/4.0	
冷凍機公称出力	kW	0.5		
質量	kg	350		
必要空気槽容量	m ³	0.28		

注1. [] は本機の定格仕様を示します。PQワイドモードは0.70~0.90MPaの範囲で設定できます。
 注2. 吐出し空気量は、圧縮機吸込み状態に換算した値です。吐出し空気量の保証値については別途ご契約ください。
 注3. 出口露点は定格圧力時、雰囲気温度30℃の条件における値です。

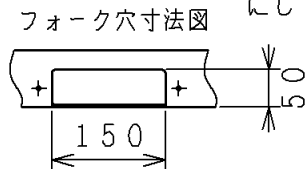
ドライヤー冷媒圧力計



ご注意

- 本機は空冷機ですので、狭い建屋に据付けますと、雰囲気温度が上昇します。雰囲気温度が45℃を超える場合は、圧縮機1台あたり表の排気風量以上の換気扇を取付けてください。
- 据付時は、別図面【据付・配管上のご注意】に示すメンテナンススペースと、吸気口から熱気、塵埃が入らないよう考慮して、据付位置を決めてください。
- 圧縮機は、床面が平滑な所に水平に据付けてください。
- 通常は、基礎への取り付けは不要ですが、基礎打ちをする場合は、別図面【基礎ポルト位置図】をご参照ください。
- 地耐力が1ton/m²未満の地盤では、基礎部に厚さ150mmの張出しを設け、底面荷重 (全荷重 (本体+基礎) / 基礎底面積) を地耐力の1/1.3以下にするか、または杭打をして地耐力を増強してください。
- 破線部の配管材は、貴社にてご用意ください。また、吐出配管において圧縮機が冷却されると、ドレンが発生しますので、配管末端には必ずドレン排出バルブを設けてください。
- 始動盤には、漏電遮断器 (ELB) は含まれていませんので、貴社にてご用意ください。なお、ELBは日立製をご使用ください。
- 必ず“アース”を取付けてください。接続口は始動盤内にあります。アース線の太さは14mm²、接地工事は、100Ω以下のD種接地としてください。電源電圧が400Vの場合は、10Ω以下のC種接地としてください。
- 電源配線を立上げる場合は圧縮機右側面のカバーが分解できるよう500mm以上離してから立上げてください。
- 必ず屋内に据付けてください。
- 圧縮機吸気口、フィルターにダストが溜まると吐出温度高等、故障の原因となります。定期的にフィルターを清掃してください。
- 電源OFF直後もインバータ、DCBLコントローラの端子に電荷が残っていますので、最低10分間は赤電部に触れないでください。
- FitLiveをご利用の際は、別図面「FitLiveサービスに関するご注意」を参照してください。
- 電源電圧400V級の場合、ドライヤー用トランスが付属となります。トランス外形寸法は別図面【ドライヤー用トランス外形図】をご参照ください。

ドライヤードレン手動排出口 (ホース口φ7) ピーコックおよび接続用継手類は付属品として納入しますので、図のようにドライヤードレン手動排出口へ取付けてください。取付後ピーコックは「閉」にしてください。



備考	品名	投影法	尺度
	HISCREW	第一角法	NTS
製図	ヤマモト、ケ	2022-10-19	
審査	ヨリカネ、シ	2022-10-19	
承認	ヨリカネ、シ	2022-10-19	
株式会社 日立産機システム		清水図番	349S39452
校査	訂正	1	2024 06-07